

45 平成 17 千臨技一般検査精度管理動画サーベイ

○久代真也(社会保険船橋中央病院) 西周裕晃(公立長生病院) 安藤 正(君津中央病院) 古谷公英(順天堂大学浦安病院) 田中雅美(成田赤十字病院) 水野由喜子(東京歯科大学市川総合病院検査室内 MBC) 渡邊一博(松戸市立病院) 伊瀬恵子(千葉大学医学部附属病院)

【目的】千葉県臨床検査技師会では、H15 年から動画精度管理調査を行っている。今年度の尿沈渣動画ファイルは上皮系細胞を加えて行い、髄液動画ファイルは新生児の脳出血検体を使用して行った。結果および得られた知見を報告する。

【参加動向】尿沈渣動画サーベイ 81 施設、髄液動画サーベイ 76 施設の参加であった。去年と比べ尿沈渣、髄液動画サーベイともに 3 施設増加した。

【解答】尿沈渣赤血球数 2.6/HPF、白血球数 4.0/HPF、扁平上皮細胞数 0.4/HPF、移行上皮細胞数 0.4/HPF、尿細管上皮細胞数 3.0/HPF、髄液は細胞数 $26/\mu 1$ 、細胞比率 23 : 3、「正解範囲は±2 個～±4 個に設定」

【結果】尿沈渣動画サーベイ正解率：赤血球 65%、白血球 67.5%、扁平上皮細胞 72.5%、移行上皮細胞 40%、尿細管上皮細胞 41.3%であった。髄液動画サーベイ正解率：細胞数 55.3%、細胞比率単核 40.8% 多核 53.9%であった。

【まとめ】尿沈渣動画サーベイでは、尿細管上皮を 34%の施設で移行上皮に誤認し、20%の施設で白血球に誤認した。またシュウ酸 Ca や白血球を赤血球に 27.5%の施設が誤認しており尿沈渣の細胞鑑別精度を向上させる必要があった。髄液動画サーベイでは赤芽球など本来コメントで報告する細胞を 23.6%の施設でカウントし、単核に分類すべき細胞を多核に分類した施設が 46.1%あり分類や結果表現の統一が必要であった。『髄液検査法 2002』に沿った統一を推奨したい。次年度も動画サーベイを継続して行い、鏡検時の問題点を提示し分類精度を向上させていきたい。

連絡先 TEL047-433-2111(2603)